入会&退会

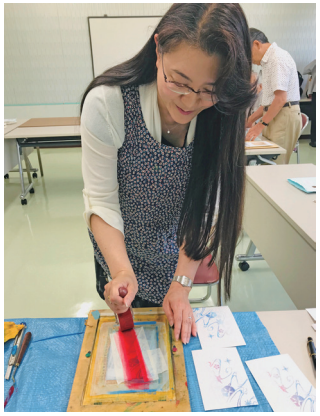
●入会：小手川ユキ子（東京都江東区）2019. 7

～自己紹介～

２年前に大阪は堺から東京の深川に引っ越してきました。

もともとは油絵を描いていたのですが、今はパステル画を描いています。趣味で銅版画をかじるなど以前より版画に興味はあったのですが、有楽町の展覧会で偶然に「はんの会」に出会い、思わず心を鷲掴みにされました。

これからは、初めてこの版画に出会った時の感動を忘れずに、よい作品を作れるように精進したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



～体験感想～

展覧会で心を鷲掴みにされて以来、待ちに待った体験会。とても穏やかで和やかな雰囲気の中、みなさんで技法を共有し、熱心に研究されている姿がとても印象的でした。

実際に版を作り刷るという体験までさせていただきましたが、優しく丁寧にご指導いただき、また何から何まで用意してくださり、大変に有り難かったです。

お昼をまたいでの半日という時間でしたが、本当に楽しくあっという間に過ぎてゆきました。

版画そのものの魅力もさることながら、みなさんの温かい雰囲気と熱心な姿に入会を即決いたしました。これからが本当に楽しみです。

●退会：大塚文子　2019. 7

ホームページ：http://www.hannokai.net

Paper-Screen Print Circle

はんの会

No.217-2019.8/9

令和元年９月１日発行

表紙の解説

題名：蝶とランプ　作者：田中 八郎

コロジオン原紙６枚、６色・６回で制作しました。
① ランプのガラスの透明感を描き液で製版し、薄い水色で刷る。
② ランプの炎と下部を製版し、黄色で刷る。
③ ランプの炎と蝶の模様を製版し、オレンジで刷る。
④ 蝶の模様を製版し、茶色で刷る。
⑤ラインを製版し、黒で刷る。
⑥バックを製版し、水色で刷る。

10月号の表紙は
三文字さんです

９月の研究会 予定

日時：9月8日(日)　会場：初台区民会館

◆午前の部（10：00 ～ 12：00）
1. 田中先生の8/ 9月表紙絵制作プロセス解説
◆午後の部（13：00 ～）
1. お話し合い（担当：鈴木）
すでに皆様も気付いておられるわけですが、新しく入会された方々の中には、せっかく入会だったのに続けてもらえず気がつけば退会してしまいお姿も見られなくなることがあって残念なことです。各自の事情はいろいろあると思いますが、何か原因の点で本人の孔版制作に対する意欲喪失とか、身辺の事情とか、それだけではないのではないかと思うことがあります。
そこで、受け入れ側の我々会員にも手伝い協力の仕方に見直しは必要ないのか、本人に不安などもあってその解消の相談に乗るような時があった場合には、今より少し踏み込んだ検討の仕方もあるのではないかと考えたりもします。
今回は講習ではなくその辺のことを話し合う時間にさせてもらえればと考えました。会委員各位のお許しをいただけますよう願っております。

10月の
講習担当は
黒川（英）さんです

７月の研究会 報告

◆午前の部（10：00 ～ 12：00）

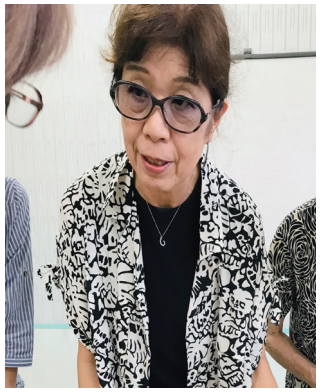
1、６月表紙制作プロセス解説（小澤）
伊藤陽子さんのガリ版作品に挑戦。髪と着物のラインをどのようにして平行に引くかを考え、プラ板で型を製作したアイデアと手間は見習いたいです。

伊藤陽子さんの作品

プラ板で製作した型

2、７月表紙制作プロセス解説（佐藤）
土を意識して茶系の紙に刷ったが、ニンニクの薄い緑やピンク色を表現するのに大変苦労したが、本人は納得いかない様子でした。刷り紙は白にした方が、微妙な色が表現できたかもしれないと反省していました。

下絵は白紙に書いた



3、講習：色重ねの効果を考える .1 ～完成～（代役黒川）
宿題を完成した人と会場で仕上げを刷るグループがいるため、午後から刷るグループが作業することにして、午前は完成したグループから解説していただいた。

◆午後の部（13：00 ～ 15：00）

1、講習：色重ねの効果を考える .2 ～印刷～（代役黒川）
刷るグループが作業開始。黒の上から刷る色には、チタニウムホワイトを入れて刷ること。また、刷る手順で色が変わるなどの注意点が報告された。

完成した作品